

(15) 都市ガス業

17 / 16 18 / 17 伸び率10%以上 ● 伸び率0 ~ 10%
: 天気図マーク; 伸び率0 ~ 10% 伸び率 10%以下

1 . 企業経営動向

(1) 都市ガス需要動向

平成 17 年度の都市ガス大手 3 社のガス販売量は、前年度に比べ 1,650 百万 m³ (46MJ / m³ 換算。以下同じ。) 増加し、24,424 百万 m³ (前年度比 7.2% 増) となった。

これを用途別に見ると (平成 18 年度供給計画ベース) 業務用は、新規需要の開発や既存物件の順調な稼働及び空調需要の増加等により、前年度比 5.7% の増加であった。家庭用は、需要期である冬場の気温が低めに推移したことによる給湯・暖房需要の増加から同 4.8% の増加であった。

平成 18 年度のガス販売量については、家庭用・業務用ともに積極的な需要拡大努力を織り込み、全体としては前年度比 2.4% の増加を見込んでいる。

(2) 中期の見通し

ガス販売量については、他燃料との競合の激化等厳しい環境にあるものの、家庭用では、都市生活の質的向上に伴う新たな需要の創造等、都市ガスの一層の普及拡大を図っていくことを前提に、また業務用については、地球温暖化対策に資するビル冷暖房・コージェネレーション分野での都市ガス利用の拡大・促進、発電分野における需要拡大等の販売努力を考慮し想定した結果、今後 5 年間 (平成 18 年度から 22 年度まで) の年平均伸び率は、家庭用 0.5% の増加、業務用 3.2% の増加と全体では 2.5% の増加が見込まれている。

(3) 企業業績

都市ガス大手 3 社の平成 17 年度決算は、経常利益が 1,810 億円となり、前年度と比較して 15.4% の減益となった。

これは、家庭用、業務用ともに販売量が増加したことから売上高は 2 兆 1,511 億円、前年同期比 7.3% 増であったのに対し、経常費用は原材料費が安定供給の確保から増加となったこと等により 1 兆 9,995 億円、同 9.8% の増加となったことによる。

2 . 設備投資動向

(1) 平成 17 年度実績

17 年度の設備投資実績額は、積極的な保安投資等に加え、比較的大規模な投資が見られたことから、H16FY-H17FY 共通企業ベース 26 社では、前年度に比べ 192 億円 (前年度比 8.1%) の増加となった。

(2) 平成 18 年度計画

18年度の設備投資計画額は、天然ガスシフトの推進に伴う生産能力の増強及び安定供給の確保を中心に総額3,083億円(調査対象26社)で、前年度に比べ533億円(前年度比20.9%)の増加を計画している。

3. 長期資金調達・運用動向

(1) 長期資金運用動向

都市ガス業は、調達資金の殆どを設備資金に充当している。なお、平成17年度の関係会社等への投融資の資金調達に占める割合は22.1%となっている。

(2) 長期資金調達動向

平成18年度の設備資金等の調達計画は、必要資金の見込額に対し、内部資金から83.4%、社債・借入金等の外部資金から16.6%の調達が計画されている。

(グラフ1：設備投資の前年度比の推移)

